

発見！白井の仕事人④ 〜厨房にエコとアイデアを〜 株式会社メカ

今回は、5月1日号に続き「千葉ものづくり認定製品」を製造している市内事業者の株式会社メカを紹介します。

メカは、揚げ物の油をろ過することで、何度も油が利用でき、廃棄物削減にもつながる「食用油精製機」や揚げ物を自動で揚げてハネにより押し出す「自動フライヤー」、みそ汁を一杯当たり約3秒で提供できる「スープティスペンサー」など、厨房機器の設計や開発、販売、メンテナンスを専門としている会社です。



観覧車式自動フライヤー

メカの経営理念は、食に関連する「自動化」「省エネルギー」「廃棄物削減」の技術を通して快適な食文化を追求し、また自然環境を守り社会に貢献することであり、技術を極め、顧客のニーズに合わせる製品を作ること、社長から社員まで考えが一貫しています。

この考えのもと、平成24年に千葉県からものづくり認定製品に選ばれたのが、「観覧車式自動フライヤー」です。本製品は、観覧車のように回るハネが食材を油槽から揚げ台に自動で押し出す仕組みになっています。ハネの回転速度を変えられるため、さまざまな食材をからりと揚げる事ができるほか、油の温度が低下しにくい仕組みのため、

1時間に冷凍コロッケを300個も揚げる事が可能で、他社の競合製品と比べて優れています。また、従来のベルトコンベア式の製品と比較すると、機械の洗浄などのメンテナンスも容易であり、コンパクトであることも大きな特長です。

■ 商工振興課商工振興班
内線3241

発見！白井の仕事人⑤ 〜白井でいきいき！元気な会社〜 有限会社ツイキ

千葉県では、取得しやすい休暇制度の構築や地域貢献活動など仕事と家庭の両立に取り組んでいる会社に「社員いきいき！元気な会社」宣言をすることを推奨しており、平成24年に宣言を行ったのが、有限会社ツイキです。

ツイキでは、配偶者の出産前後に男性が取得できる休暇制度を整えるなど従業員が休暇を取りやすい体制の構築や、2年前から市内の小学校に入学する新1年生に、交通安全を啓発するランドセルカバーの寄付を行っていたことから、県の取り組みへの参画につながりましたが、今後も社内や地域での取り組みを推進するとしています。



ランドセルカバー

ツイキは、現社長の祖父が昭和42年に松戸市で金属プレス加工業として創業しました。大手家電メーカーの孫請けとして発展しましたが、バブル崩壊とともに業績が悪化し、3代目となる現社長に会社の再建が託されることになりました。平成4年に新事業を開発する「第二創業」を開始したが、現在本社のある白井市でした。

白井に移転後、印刷などさまざまな技術を習得し、長年プレス加工で培った型抜き技術と融合させることで防犯ステッカーや反射シール・反射ストラップなどを中心に、あらゆる「ノベルティグッズ」の製作を専門として事業を展開し、各自治体のほか自治会や市民団体からも帽子や反射チョッキなどを受注しています。



チーバくん反射ストラップ

大企業のように工程ごとに別の下請けに出すのではなく、一社で全工程を製作することにより、QCD（品質・価格・納期）の向上につながっているとのこと。社長に今後のビジョンを聞くと、これからもできる範囲で新しいことにも挑戦し、地元根付いた企業で有り続けたいとのこと。2年前の東日本大震災では、自社も被害を受けながら、被災地にパトロールベストを無償提供を行っています。地域や社会貢献を積極的に行うツイキの活動に今後も注目しています。

■ 商工振興課商工振興班
内線3241

発見！白井の仕事人⑥ 〜補虫器と光媒体の融合で海外へ〜 株式会社シューサン

今回は「千葉ものづくり認定製品」に製品が認定されている市内事業者、株式会社シューサンを紹介します。

シューサンは平成元年に現社長の小野寺さんにより創立され、白井には平成12年に進出し工場を設けました。

この工場で製造し、千葉ものづくり認定製品に選ばれているのが、高性能補虫器「スイトル君」です。



スイトル君 (小)

「スイトル君」は、補虫器上部にある蛍光灯に虫が引き寄せられると、蛍光灯の下にあるファンにより吸い込まれ、補虫器の下部にある補虫袋に集まる仕組みになっています。

他社製品は蛍光灯で虫を引き寄せた後、粘着テープや高電圧で捕らえる方式ですが、粘着テープ方式ではテープに虫が付着したまま不衛生であったり、高電圧方式では感電のおそれや消費電力量が大きいなどの問題がありました。「スイトル君」はこれらの問題を解決した国内唯一のファン式の補虫器です。

さらに蛍光灯の照射部には光触媒を施しており、捕らえた虫による細菌の繁殖を防止できることが実験結果から分かったほか、空気清浄効果もあります。

他社製品と大きく異なる特長から、大手菓子メーカーなど食品製造工場を中心に、国内外を問わず広く使用されています。

また、現在は光触媒の抗菌効果などにも着目し、マスクや水溶液といった光触媒を利用した製品の開発にも力を入れているとのこと。



スイトル君 (大)

最後に今後のビジョンを社長に聞くと「小さい会社だからこそ機動力を活かし、新しい手法・商品に挑戦したい。また、日本は企画力に優れているので、この点で海外と対抗していきたい」とのことでした。

「今後は環境への対策も重要視しており、一層取り組んでいきたい」とも言っており、今後も、シューサンの企画力に注目していきます。

■ 商工振興課商工振興班
内線3241